

# ePCT スタート ガイド

## ePCT ご利用開始までの流れ

ePCT は、WIPO が出願人及び官庁向けにオンラインで PCT サービスを提供するためのシステムです。ePCT を利用することでユーザは、国際事務局で管理されている PCT 国際出願に安全な環境でアクセスし、直接手続を行うことができます。PCT 出願の作成・提出や「アクション」機能によるオンライン手続をはじめ、書類の提出 (アップロード) やダウンロード、PCT 出願のモニタリングなど、PCT に関する手続の大半を、このウェブベースのオンライン サービスで済ませることができます。

### ステップ 1: WIPO ユーザ アカウント (WIPO Account) を作成する ([解説動画はこちら](#) (英語))

まず最初に、WIPO ユーザ アカウント (WIPO Account) をお持ちでない場合には、アカウントを新規に作成していただく必要があります。WIPO ユーザ アカウントを 1 つ作成するだけで、同じユーザ名 + パスワードの組み合わせを使って、[WIPO が提供する多数のオンライン サービス](#)にログインして利用できるようになります。

WIPO のウェブサイトから、次の手順で [WIPO ユーザ アカウントの作成](#)を開始してください。

1. 画面に表示される簡単な手順に従って、アカウントの登録と確認を行います。WIPO ユーザ アカウントは登録者個人に対して発行されるものであり、グループや組織がアカウントを取得することはできません。このためアカウント作成の際には、登録者個人のユーザ情報と電子メール アドレスをご登録いただく必要があります。また電子メール アドレスはそれぞれ 1 つのアカウントにのみ登録可能です。複数のアカウントに登録することはできませんのでご注意ください。

注: 選択したユーザ名が別の WIPO ユーザ アカウントですでに使用されている場合には、「このユーザ名はすでに使用されています」というメッセージが表示されます。その場合は、別のユーザ名 (最低 4 文字) を入力してください。ユーザ名には、ラテン文字 (半角英字) 以外の文字、空白スペース、または特殊文字を含めることはできません。住所フィールドは必須ではありませんが、入力することをお勧めします。アカウント作成時に登録しておくことで、ePCT 上の一部の入力欄で (たとえば eOwnership 権限の取得申請をする場合など) 住所を再入力する手間を省くことができます。

2. アカウント作成の際には、アカウントの認証に必要なリンクが記載されたメールを確実に受信できるように、特に注意して電子メール アドレスを正確に入力してください。アカウント認証用のメールが数分以内に届

かない場合は、迷惑メール フォルダをチェックして、「[no.reply@wipo.int](mailto:no.reply@wipo.int)」が安全な送信者リストに含まれていることを確認してください。

注: パスワードを選択するときは、パスワードで大文字と小文字が区別されることに注意してください。8～16文字で、少なくとも1つの文字と1つの数字を含める必要があります。

3. アカウント認証用のリンクをクリックして、作成したアカウントの認証を完了すると、[ePCT \(https://pct.wipo.int\)](https://pct.wipo.int) にアクセス可能な状態になります。

ePCT にアクセスする際には、まず WIPO のオンライン IP サービスを集約した総合ポータルサイトである「IP Portal」経由でログインするよう求められます。

このときに、WIPO ユーザ アカウントのユーザ名+パスワードのみでログインすると、基本的な ePCT 機能にアクセスできます。例えば、PDF 書類を国際事務局に提出 (アップロード) する機能などがご利用いただけます。

このほか ePCT 上で機密性の高いデータや書類にアクセスし、新規国際出願の作成や提出を含む、様々な手続に関する機能を利用するには、お持ちの WIPO ユーザ アカウントに、追加認証「高度な認証」を行う方法を設定する必要があります。(以下のステップ 2 を参照)。

推奨されるブラウザは、Mozilla Firefox と Google Chrome です。Microsoft Edge や Safari などの他のブラウザからもアクセス可能ですが、ePCT との互換性について WIPO で完全にはテストされていません。

ePCT は、PCT の国際公開言語である 10 言語 (日本語、英語、アラビア語、中国語、フランス語、ドイツ語、韓国語、ポルトガル語、ロシア語、スペイン語) のいずれの言語でも利用可能です。ログインする前に、画面上部のナビゲーション バーの言語メニューから、利用言語を選択してください。

## ステップ 2: WIPO ユーザ アカウントに高度な認証を設定する

ePCT 上で機密性の高いデータや書類にアクセスしたり、新規国際出願の作成や提出を含む、様々な手続に関する機能を利用するには、お持ちの WIPO ユーザ アカウントに、追加認証「高度な認証」を行う方法を設定する必要があります。高度な認証については、2 つ以上の認証方法を設定することをお勧めします。

ログインするときには、設定した方法の中から、その都度使用する認証方法を選択できます。

最も簡単な認証方法は、ワンタイム パスワード (OTP) を使う方法です。ワンタイム パスワードを使う認証方法には、認証アプリ (例: Google Authenticator) をモバイル端末にインストールして利用する「アプリ方式」と、携帯電話で SMS メッセージを受信する「SMS 方式」とがあります。

ワンタイム パスワードの代わりに電子証明書を高度な認証に使用することも可能ですが、ワンタイム パスワードを使用する方法と比べて設定や管理の利便性は劣ります。

1. ユーザ名+パスワードで ePCT にログインして、上部のナビゲーション バーに表示されるご自身の名前をクリックしてください。ドロップダウン メニューが表示されますので、[WIPO ユーザ アカウント情報] をクリックしてください。アカウント情報や高度な認証方法を管理するためのページへ移動します。



2. アカウントに高度な認証方法を設定・管理するためのリンクをクリックしてください。



## プッシュ通知

モバイル端末に ForgeRock Authenticator アプリをインストールし、アカウントにそのアプリを登録して[プッシュ通知を受信](#)する認証方法です。

## ワンタイム パスワード (アプリ方式)

アカウントに[ワンタイムパスワード生成用のアプリ](#)を登録して、ワンタイムパスワードを生成する認証方法です。

### ワンタイムパスワード (SMS 方式)

アカウントに[携帯電話番号を登録](#)して、SMS メッセージでワンタイムパスワードを受信する認証方法です。個人の携帯の利用を避けたい場合は、会社の固定電話番号を登録し、音声にてワンタイムパスワードを受け取れます。

### 電子証明書

お使いのブラウザに電子証明書をインストールし、アカウントにアップロードして利用する認証方法です。ePCT は以下の電子証明書に対応しています。

- [WIPO 電子証明書](#)
- スマートカード (smart card) 形式の [EPO により発行された電子証明書](#)

### ステップ 3: ePCT のすべての機能が利用可能になる

#### [高度な認証を使ってログインする](#)

ePCT にログインするときに高度な認証を使うことで、ePCT で提供されるすべての機能が利用可能になります。

- [新規国際出願の作成や提出](#) (即時検証機能付き)
- 出願手数料のオンライン支払い (クレジットカード、WIPO 当座預金口座) (RO/IB のみ)
- 公開前の出願も含む機密性の高いデータや書類へのアクセス (2009 年 1 月 1 日以降に出願された PCT 国際出願)
- 国際出願へのアクセス権の管理や共同作業へのアクセス権付与を行うことができる「[eHandshake](#)」機能
- 多言語対応の[アドレス帳](#)の作成や共有

- 規則 92 の 2 に基づく変更届、国際出願の取下げ、国際予備審査請求 (第 II 章) を含む各種請求をオンラインで提出できる「[アクション](#)」機能 (即時検証機能付き) (公開前の出願に関する請求も含む)
- 中間書類を各種形式でアップロードして IB やその他参加官庁 (RO、ISA、IPEA) へ提出する機能 (ePCT 上で利用可能な国際出願は 2009 年 1 月 1 日以降に出願されたものに限られますが、それより前の国際出願についても、書類のアップロードは可能です)
- 国際出願手続の期日等の「イベント」に関する[自動通知](#)の設定 (例: 公開を回避するための国際出願取下げ期限が迫っている場合の通知など)

### [高度な認証なしでログインする場合](#)

[高度な認証](#)を使用せずに、ユーザ名+パスワードのみで ePCT にログインした場合には、以下の限定的な機能のみご利用いただけます。

- 中間書類を PDF 形式でアップロードし、国際事務局 (IB) に対してのみ提出できます (郵送やファックスの代替手段として利用可能)。例えば新しい代理人などが出願に対する ePCT アクセス権をまだ取得していない場合にも、この機能はご利用いただけます。
- 高度な認証を使う場合と比べて、利用可能なオンライン手続や検証機能は大幅に制限されたものになります。
- 第三者情報提供制度に基づき情報を提供するための機能は、高度な認証なしで利用可能です。

高度な認証なしで ePCT にログインした場合、特定の国際出願に対する所有権やアクセス権を設定することはできません。このため、高度な認証なしで国際出願に関する書類をアップロードしたり手続を行うには、まず検索ボックスに国際出願番号と国際出願日を入力して検索を実行し、目的の国際出願を表示してください。